

会 報

つくば学園ロータリークラブ



TSUKUBA GAKUEN ROTARY CLUB DISTRICT 2820 R.I.

It is the 25th year since 1986

10月14日(木) 例会報告



点鐘をする川崎庄一会長

例会報告

米山月間に因んで
米山奨学会委員長 岡添 紘樹会員

幹事報告
副幹事 小城 豊会員

奥様誕生祝・結婚祝

幹事報告

ガバナー公式訪問のお知らせ

2010-11年度ガバナー公式訪問が、11月11日(木)に開催されます。公式訪問例会には、多数の皆様のご出席をお願いいたします。

また、クラブ協議会において、例年通り事業計画の発表がありますので、役員・理事・各委員長(都合の悪い方は代理の方を必ずお願いします。)及び入会3年未満の会員は必ずご出席ください。



幹事報告をする小城豊副幹事

日時 : 2010年11月11日(木)
場所 : オークラフロンティアホテルつくば本館3F
スケジュール : 11:15 ガバナーとの協議(役員のみ) 『4F 檯の間』
12:30 公式訪問例会(全会員) 『ジュピター・ウエスト』
13:30 記念写真撮影(全会員) 『4F 写真室』
14:00 クラブ協議会 『ジュピター・イースト』
(役員・理事・委員長・入会3年未満の会員は義務出席)
16:00 懇親会(全会員) 『ジュピター・ウエスト』



米山月間に因んで



米山月間に因んで卓話をする
岡添紘樹米山奨学会委員長

米山月間に因んで

食事タイムにて22分間の米山奨学金についてのガイダンスビデオを拝見した後、岡添紘樹米山奨学会委員長より卓話がありました。卓話の内容は以下の通りです。

まず、お手元にロータリー米山記念奨学事業の豆辞典をご用意ください。5ページと6ページにロータリー米山記念奨学事業の概要の説明が掲載されております。

ロータリー米山基金奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。

この事業の使命は、将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良

き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

このロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリーの創始者、故・米山梅吉翁の偉業を記念し、後世に残るような有益な事業を立ち上げたい、との思いから1952年東京RCが発表しました。その内容は、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業、「米山基金」の構想でした。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい・・・という、当時のロータリアンたちの強い願いがあったのです。

「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」

（『ロータリー米山記念奨学会史』より）

引き続き国際ロータリー第2820地区2009－2010年度米山記念奨学会クラブ別寄付金納入明細表に基づくご説明がありました。

米山奨学金は、普通寄付金と特別寄付金がありますが、つくば学園RCは普通寄付金単価が4,000円で2009年7月から2010年6月の普通寄付金は252,000円で特別寄付金が500,000円であり、合計で752,000の寄付を行っております。設立以来の累計額は、35,174,000円でございますが、年間の1人当たりの寄付額は11,750円で20,000円を下回っております。これでは奨学生の世話クラブやカウンセラーになれません。

これは、ある時期に米山奨学金の半額について、つくば学園RC自体の独自の寄付金制度を設けたことに由来しますが、継続事業として運営することは難しく、奨学生の世話活動も実際にはございません。奨学生の世話クラブになるためには、個人1人あたりの寄付額の多いクラブから該当いたします。私は、この1年間をかけて1人20,000円以上の寄付を集めたいと思っております。



米山月間に因んで(続き)

ただし、今年1年間で1人当たりの寄付額が20,000円を超えたとしても、世話クラブになれるのは3年後からです。世話クラブになり奨学生を迎えられれば、奨学生との意見交換も図れますし、一緒に食事できますし、卓話してもらえます。

豆辞典の23ページにもありますように、大学院生を受け入れますと年間で1,680,000円の奨学金が交付されます。これをつくば学園RC単独で行おうとすると、500,000円しか支給することができません。

ロータリー米山記念奨学会は、50年以上の経験がございますので、奨学生の選考のシステムなどのノウハウが蓄積されております。すなわち、幅広く向上心の高い人材を選考することが可能となります。

川崎会長がお話しされたように、1人あたりの寄付額が18,000円～19,000円を目指しても、これは平均額ですから、休会などの方もおりますので、1人あたりの目標額は、20,000円以上を目指してまいりたいと思います。

川崎会長と一緒にお願いにまいりますので、よろしくお願いいたします。

参照 ロータリー米山記念奨学会URL <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

ロータリー米山記念奨学事業の特徴



豆辞典を活用して説明をする
岡添紘樹米山奨学会委員長

ロータリー米山記念奨学事業の2つの特徴

本日例会において配布されましたロータリー米山記念奨学事業の豆辞典の中に、ロータリー米山記念奨学事業の特徴が記載されておりますので、ご紹介いたします。

特徴その1 世話クラブ・カウンセラー制度

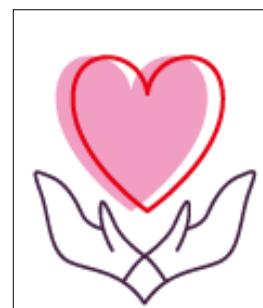
奨学金による経済的支援だけでなく、ロータリーとの深い交流と精神的ケアを重視しています。奨学生一人ひとりに、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、ロータリーとの交流の起点となります。さらにその会員の中からカウンセラー

が付いて日常の相談役となり、奨学生の留学生活が心豊かなものになるように配慮しています。

例会に参加したり、地域の奉仕活動を体験できるのもロータリーならでは。奨学生にはかけがえない経験となると同時に、ロータリアンにとっても、米山記念奨学事業の意義を実感し、理解を深める機会となっています。

特徴その2 日本最大の民間奨学事業

年間の奨学生採用数はおよそ800人、事業費は14.6億円（2009年度決算）と、国内では民間最大の奨学事業となっています。これまでに支援した奨学生数は、累計で15,776人（2010年4月現在）。その出身国は、世界119の国と地域に及びます。



ロータリー米山記念奨学事業のシンボルマーク



米山月間に因んで



米山奨学生としての経験談をお話する宮川健治会員

米山奨学生としての経験談をお話する宮川健治会員

私自身、1982年から86年まで水戸RCで米山奨学生としてお世話になりました。当時としては珍しく4年間お世話になりました。現在でもあまりないケースだと思います。

米山奨学金のお世話になりまして、大学における医学の勉強がスムーズにできました。ロータリークラブのおかげで今があると感じております。

1人あたりの米山奨学金の寄付額を上げることにについては様々な意見があると思いますが、ロータリー活動の根幹にかかわる事業であり、国際奉仕の趣旨において、良い制度だと思います。

筑波大学も近くにありながら、つくば学園RCが世話クラブにならないことに関しては、違和感を覚えます。

米山奨学金は、留学生にとっては非常に助かります。国際協力・平和に貢献するという点では、つくばという立地は効果が高いと考えます。

反対意見もあろうかと思いますが、一人あたりの寄付額について、20,000円を目標にすることについて、ご検討をよろしくお願いいたします。



ロータリー米山記念奨学事業の補足説明をする川崎庄一会長

ロータリー米山記念奨学事業の補足説明をする川崎庄一会長

本年度、会長として多くの地区の会合に参加しております。本日は、ロータリー米山記念奨学事業に対する地区の考え方をご紹介します。

ロータリー米山記念奨学事業については、本日配布いたしました豆辞典に網羅されております。

第2820地区の状況は、14ページをご参照ください。個人平均寄付額は19,350円であり、全国34地区のうち6位です。特別寄付者の割合は、69.2%でほぼ7割を占めます。16ページにもありますように第2820地区の奨学生の採用人数は昨年も今年も29名です。

全国の米山奨学金の寄付額のうち、茨城県の割合は3.6%ですので全国の奨学金に占める割合とほぼ同率の奨学生を採用していることになります。

米山奨学金の対象となった留学生は学友会に入会します。学友会は卒業生と現役の学生とで構成されております。卒業された学友の中には、駐日韓国大使の灌哲賢（クォンチェルヒョン）氏をはじめとして、いろいろな分野で活躍されております。詳しくは17ページ以降を参照してください。

先ほど述べましたように、第2820地区では、29名の米山奨学生を採用いたしておりますが、これは個人寄付の多いRCから配分されております。世話クラブやカウンセラーになれるかどうかの目安は18,000円～19,000円です。

第2820地区の過去の累計寄付額では、土浦RCが2010年6月30日現在で99,797,635円です。先日地区のライラに出席した折に現在1億円を突破したとお聞きしました。おそらくロータリー米山記念奨学会より表彰されると思います。水戸西RCや古河東RCや土浦RCなど個人の寄付の平均額が30,000円を超えるRCもあります。

ライラに出席した折にも、つくば学園RCは、筑波大学のお膝元のRCであるにも関わらず、米山奨学金に関して冷めた目でみているのご意見もありました。これは米山奨学生の受入や筑波大学長を囲む会の月例会などに、あまり参加していなかったことも原因だと思います。

もし、本年度寄付額が、18,000円を超える目標が達成できたとしても、世話クラブになれるのは3年後です。毎年受け入れるためには、継続が必要です。皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。



10月14日 会場スナップ①



最近、例会出席率が70%代と低迷しております。お忙しいとは思いますが会員の皆様方のご出席お待ち申し上げます。また、食事中にもかかわらず写真を撮るときにはポーズを決めていただきご協力に感謝いたします

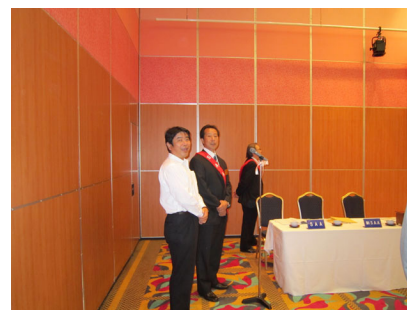




10月14日 会場スナップ②



一番最後の写真は、上野修会員がロータリーソングを斉唱している最中に、全体写真を撮影のため中山正巳SAA委員長の横にいたところを激写していただきました。ありがとうございます。



奥様誕生祝・結婚祝

Congratulations !



10月奥様誕生祝

19日 小堀 静江 様
21日 磯山 とし子様
30日 小城 由美 様

10月結婚祝

4日 菅原 俊 会員・ 浩子様
4日 石川 英昭会員・ 桂子様
6日 東郷 治久会員・ 富紀子様
6日 沼尻 真一会員・ 恵里子様
14日 田口 幸男会員・ 葉子様
15日 浦里 浩司会員・ 晴美様
22日 篠崎 忠志会員・ けい様
23日 中山 正巳会員・ 敬子様
25日 宮澤 泰輔会員・ 美奈子様
29日 上野 修 会員・ いゆ子様

10月14日ニコニコBOX



岡添紘樹	米山記念奨学金寄付をお願いします。1人2万円以上で、3年後に米山記念奨学生をおせわしましょう。ご協力をお願いします。
倉持武久	女房とエーゲ海クルーズに行ってきた。1週間船に乗ってたので、まだ揺れている感じです！
小堀恒雄	妻の誕生祝有難うございました。
中山正巳	SAAにご協力いただき有難うございます。これからもよろしくお願いします。
綿引信之	妻の誕生祝有難うございました。同じ日に内孫が誕生いたしました。虎年の女の子です。将来楽しみです。



報告 菊地克之会員

本日の合計	¥30,000-
本年度累計	¥403,000-

現在、年間目標額198万円に対して、現在の累計額が40万円ほどですので、進捗率は2割ほどです。
なお一層のご協力、よろしくお願いいたします。

出席率報告 10月14日(木) 例会

出席率72%以上 無届欠席ゼロを目指して

会員数	出席数	欠席数	内無届欠席数	出席免除	メイク・ゲスト	出席率
66名	49名	17名	3名	2名	0名	79.00%



最近高野勝委員長が欠席のため、出席率の報告の機会に多く恵まれています。もうそろそろ委員長に格上げしていただけるかもしれません。最近出席率の低下を感じます。是非とも例会に参加してください。来週のスカイツリー・浅草見学のご出席もよろしくお願いいたします。

報告 大野治夫副委員長



プログラム予告 10月 米山・職業奉仕月間

10月21日 川崎年度第1回「スカイツリー・浅草見学」

10月28日 「ガバナー補佐公式訪問」
職業奉仕報告
塚田陽威会員、古本捷治会員
会員誕生祝



4つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ホームページもご覧下さい
<http://www.46gama.com/>

編集後記

(クラブ会報委員長：鯨井)

●日本時間の10月14日午前9時55分、チリにおける鉱山落盤事故で、地下約700メートルに閉じ込められた作業員33名の救出作業が無事終了しました。この事故は8月5日に発生しておりますので、69日ぶりの奇跡の生還を果たしたことになります。

この奇跡の救出劇を支えたのが現場監督のルイス・ウルスア氏存在でありました。前例のない過酷な地底生活を続けた33名をまとめ上げ、生還へ導けたのは、ウルスア氏の指導力のおかげです。

まずウルスア氏は、他の作業員と手分けして周囲のトンネルを調査し、自分たちが閉じ込められた事実を冷静に認識しました。次に「48時間おきにスプーン2杯のツナ、そしてミルク1杯。これを守ろう」と言い、生命線ともなる食料配給の規則を決め、発見と救出を待ちました。

地上で作業員全員が無事であることが確認されたのは、事故発生から17日後でした。それまでウルスア氏は、泣き出しそうになる仲間達に「助けが必ずくる。絶対に希望を失うな」と励まし続けました。

いつしか、ウルスア氏のもとに全員が団結し、時にはパニック気味になりけんかもした仲間達がまとまっていきました。そして今回の奇跡が起きました。

自分自身もくじけそうになる絶体絶命のピンチに、冷静に判断を行い、先の見えない現状の中でも、決して希望を失うことなく他の仲間たちを勇気づける。なんとなく今の日本の中小企業のおかれている現状に重ねて見てしまうのは私だけでしょうか？

チリの奇跡の生還を、私たちも見習って、今の不況を乗り切りましょう。

例会日 木曜日 12:30～13:30
例会場 「オークラフロンティアホテルつくば」
つくば市吾妻1丁目1364-1



友好クラブ

京都山城ロータリークラブ
(第2650地区)



地域を育み、大陸をつなぐ

つくば学園ロータリークラブ

〒305-0047

茨城県つくば市千現2丁目1番6つくば研究支援センターA28

電話 029-858-0100

FAX 029-858-0101

Email: gakuenrc@46gama.com